

3Dプリンター

『3D プリンターを利用してりんごのフードロス改善する』

規格外のりんごの廃棄問題を今までとは違った形のアプローチで解決するため、りんごを 3D プリンターの材料にし、おいしい印刷物を作り上げるみせを提案する。このみせは、最新技術を体験しながら形を創造し、楽しく規格外のりんごの廃棄問題の解決を促すことができる。

このみせでは、りんごの形を私たちの思うように変えることができる。ロボットやキャラクター、小さな家など、私たちが作りたかったものをりんごで作ることができる。壁面のモニターによって作りたい形を決め、建物中心の 3D プリンターへ素材のりんごをセットする。すると、プロジェクションマッピングによってりんごが形を変えていく様子が、床や壁、天井まで魔法のように映し出され、変化の過程を楽しむことができる。プリントされたりんごは持ち帰ったりして美味しく食べることができる。しかし、2 階のスペースで周りの人と作った形を見せ合い、話の種にしながら他の人と楽しく食べることで、新たな人との交流の機会ともなる。

2 階は印刷物を食べたり、写真を撮ったりするスペース。真ん中に植えられた林檎の木をサークル状に囲む作りで、フードコートのような配置の席が存在。ここで周りの人との作品を見せ合い、人と話すキッカケも生まれる。このスペースは、りんごによって新たな人との交流場所となる

1 階は印刷をするスペース。外周の壁沿いでりんごを受け取り、中央の芯のような柱で印刷する。形を変えていく様子は、床から壁面、天井までを使ったプロジェクションマッピングによって表現され、フェーズごとに実物がどのようになっているかを見ることができる。

